

日中技術交流センター2024 年度定期総会議事録

日本技術士会登録
日中技術交流センター

1. 日時：2025年7月28日(月) 14時～16時
2. 方法：Zoom会議
3. 出席者：12名
熊澤壽人(ホスト)、矢島利夫(共同ホスト)、岩崎和希、大越時夫、小川 齊、河崎弥生、
顧 静、鈴木陸夫、竹内 修、武内晋哉、南波正司、村木孝夫
4. 議題：
 - (1) 2024 年度活動報告
 - (2) 令和 6 年度会計報告書
 - (3) 2025 年度活動方針
 - (4) その他
5. 会議資料：
 - ① 2024 年の活動報告概要
 - ② 令和 3 年度会計報告
(別紙：添付)
6. 議事
熊澤代表幹事の司会で議事進行された。
 - (1) 2024 年度活動報告
熊澤代表幹事より会議資料に基づき、2024 年度の活動報告があった。
 - ① 2024 年度活動報告概要
 - ・コロナ感染も収まり中国や韓国との交流も復活になった。
 - ・中国大使館との交流の機会が増え打合せを行った。
 - ・昨年 11 月中国訪問のビザが不要となり、中国訪問が容易になるとともに中国からの訪問も増え各都市の来訪の対応等交流が活発となった。
 - ・中国との交流及び指導要求の募集などの問い合わせも多く、具体的になったものはその都度会員の活動などを紹介している。
 - ・科学技術振興機構のアジア情報や産業技術総合研究所からの情報を得られるようになり、その都度会員に転送し情報発信をしている。
 - ・当センターの運営などの会議や打ち合わせに関しては、東京以外の会員も多いので出来るだけ Web で行い、全国の会員との交流の機会に活用したいと考えている。
 - ・会員外にも必要に応じ案件情報を知らせており、当センターを知ってもらおう機会にしている。
 - ② 2024 年度主な活動実績
 - 01 中国大使館との交流 2024 年 4 月
 - 02 日中韓人材交流 2024 年 4 月

- 03 山東省シ博市との覚書更新 2024年6月
- 04 青島・膠州市五大新城経済貿易交流協力会に参加 2024年7月
- 05 塩城市政府来日
- 06 中国山東省濰坊市交流会 2024年09月
- 07 日照市交流会開催 2024年11月
- 08 日中農林水産業促進会設立式典参加 2025年01月
- 09 日本江蘇総会 2025年迎春新年会参加 2025年01月
- 10 中国国際人材交流協会新年座談会とレセプション 2025年02月
- 11 日中技術交流センター主催：春節祝賀会開催 2025年3月

③ 各地域からの案件要請

今期案件は下記を記録している。我々は案件を紹介しているだけになるのでどの程度指導に繋がったかは把握していないが前期よりだいぶ増えている。

応募や指導は内容を判断し自己責任でお願いしている。

- ・2024年度の案件総数：23件（2024年4月～2025年3月）
- ・案件内容：技術指導、会議参加、講演依頼等
- ・依頼者：中国各市機関（温州市、唐山市、青島市、日照市、南京市、温岭市等）
その他、中国関係業務日本企業等

(2) 2024年会計報告

鈴木会計担当幹事より令和6年度会計報告書に基づき会計報告があり承認された。

(3) 2025年度活動方針

熊澤代表幹事より2025年度（25年4月～26年3月）の基本方針の表明があり、承認された。

① 中国大使館及び中国系協会との交流

中国大使館からは、数件の打ち合わせや交流の機会を打診されている。日本国内の中国系協会の集まりにも参加する機会を増やしてゆきたい。昨年以来中国では農業関係が注目されているようであり、我々もこの分野にも力を入れたい。

会員の皆様にも機会があればお知らせし参加の機会を作りたいと考えている。

② プロジェクト交流

会員の持つ技術を活用できるように、中国中央政府、中国国際人材交流協会等との交流の機会は生かしたい。中国での活動は各地域技術部及び外国専門家局を通じて企業とのマッチング会を開催し、または参加し指導者の紹介を行ってゆきたい。国内の中国関係業務は中国からの日本への技術視察が復活してくれば機会は増えるのではないかと考えている。

前期に日中韓技術協力センターを立ち上げた。今期も継続して韓国の持つ中国政府との人脈も活用し案件を広げてゆきたい。

新しく農村振興及び生産品ブランド化のプロジェクトが始まった。農村振興と言っても農業だけでなく様々な

分野の技術協力が必要で有ると考えており、これらを通して会員の技術協力の場となればよいと考えている。入手した情報は同報メールで会員に情報を提供するとともに、会員の友人知人を通し多くの技術士にも技術指導の機会を提供する。

③ 情報収集と提供

中国技術情報、中国関連団体の情報等を収集し同報メールで会員に知らせる。
国内技術動向などの情報を入手したら同報メールで会員に知らせる。

④ 新規会員募集

この数年間コロナウイルス感染の影響で案件も減り会員数も減ってきている。中国業務に興味を有する技術士、技術者に積極的に声掛けを行い、会員を増やしたい。皆様もぜひご協力していただけるとよいと思います。

⑤ 幹部会・講演・来客対応

中国政府関係の来客や講演会、談話室、その他行事など、現在技術士会の会議室利用が有料のため制約を受けている。通常使っていた学士会館の会議室が建替工事のため使えないでいるが、工夫して開催したい。幾つかの中国系協会から会議室を使っても良いと言われているが、内部情報や活動状況を知られてしまうので、支障が出るか等慎重に考えている。

Web 会議で可能な場合はこの方法も利用し広く会員たちとの交流親睦の場としたい。

(4) その他

中国語勉強会について

現在、残念であるが、講師や受講生の都合もあり暫く休眠中である。

以上